

民主島根

2021年
6.20
第1386号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

中国ブロック比例キャラバン 五輪やめコロナ対策に全力を

松江・安来 大平 前衆議院議員がまちかど演説

「中国ブロック比例キャラバン」に取り組んでいる日本共産党の大平よしお前衆議院議員・衆院中国ブロック比例予定候補は8日、松江市内2カ所、安来市内4カ所でもまちかど演説し、「国民の命を脅かす五輪は中止し、『コロナ対策に全力を挙げよ』の声を広げよう」と呼びかけました。

大平氏は、五輪開催によって国内の人流が増え、コロナ感染拡大のリスクが増大するにも関わらず、菅首相が開催を強行しようとしていることを批判し、感染拡大を抑えるためには①ワクチンの安全・迅速な接種、医療機関への減収補てんと医療従事者への支援②同時並行でのPCR検査の③十分な補償



街頭で訴える大平氏（右から2人目）と（左端から）舟木、橋、（1人おいて）田中の各市議（松江市）



宣伝する（右から）向田、大平、原田、河津の各氏（安来市）

としつかりした生活支援こそ求められていると強調しました。

また、菅政権が高齢者医療費2倍化法や病床削減推進法を強行したこと

島根原発2号機再稼働認めるな 原発ゼロの会が県へ要請

原子力規制委員会による適合性審査が最終盤を迎えている島根原発2号機で5月17日、原子炉建物内で作業員が転落して負傷し、翌18日には

にもふれ、「くらし、命を脅かす菅政権にノーの審判を下すため、野党共闘の先頭に立つ日本共産党を大きく伸ばしてほしい」と訴えました。

同1号機の管理事務所内で火災が発生した問題で原発ゼロをめざす島根の会は11日、県に「中電は原発を安全に動かす技術的能力を欠いている。県民は再稼働に大きな不安を持っている」として再稼働を認めないよう要請しました。（写真）日本共産党の尾村利成、大國陽介の両県議、舟木健治、橋ふみ両松江市議が同席しました。山崎泰子共同代表ら3氏は「中電は安全文化の醸



山崎泰子共同代表ら3氏は「中電は安全文化の醸

成に努めると言いながらトラブルを繰り返している」と指摘し「県民の不安の思いを中電に伝えるとともに、不安が解消されるよう県としてしっかりと取り組んでほしい」と

美郷・飯南町議選 必ず勝ち抜こう

美郷町議選（定数12）が7月13日告示・18



飯南町議 好晴氏
美郷町議 中原保彦氏

要求。県防災部の出雲昌浩次長は「技術的能力を含めて規制委が審査している。中電には、資質が疑われることのないようしっかりと対応して頂きたい」と答えました。

日投票で行われ、飯南町議選（定数10）は7月20日告示・25日投票で実施されます。

美郷町議選には、4年前の選挙で空白を克服した日本共産党の中原保彦氏（現〓（79））が2期目に挑みます。

飯南町議選には、日本共産党の、いとう好晴氏（現〓（69））が5期目をめざします。

日本共産党の吉井安見出雲市議は11日の市議会で、コロナ禍で県外での実習や就職活動に影響を受けている学生の生活実態や苦境に立たされている市内業者の経営状況を示しながら、市の支援策の拡充を求めました。

吉井氏はこの間、日本民主青年同盟県委員会と取り組んできた食料支援活動での学生実態アンケート（4月25日実施）で「生活がとても苦しくなった」「少し苦しくなった」と回答した

新型コロナ対策支援 さらなる拡充を

吉井市議が初質問で要求

出雲市議会

学生が7割にも及び、「食費を削るために一日一食しか食べていない」（大学2年の男子学生）などの声を紹介しました。

また、大國陽介県議、後藤由美市議と商工団体を訪れた際、「市の中小企業補助金は新規事業展開が条件で要件が厳しい。給付金の再支給など直接支援策を拡充してほしい」などの要望が寄せられたことも紹介し、今後の学生生活や経営を展望できる支援策を強く要求しました。

鼓動

梅雨の合間のカラリと晴れ渡った昼下がりに、久しぶりに遠出した。山道の木々に生い茂る若葉のこもれ陽がキラキラと輝く。訪れた山王寺（大東町）の棚田のわきで、巨木に絡んだ山の藤が紫の花をつける。山懐に抱かれた水田が緑の壁に向かって緩やかな傾斜を積み重ねていく。▼青空と緑のグラデーションそして「日本の棚田百選」の見事な水田の風景が、この卵の花さかりにいちだんと透明感を増す。なにより新緑の森林が醸し出す空気がうまい。思いきり深呼吸すると「ああ、生きていく」と実感する。そしてこの快感は、人間だけの特権ではない。地上のすべての生き物が享受している。▼しかし今、世界で森林の減少が止まらない。乱開発や違法伐採、異常気象による大規模火災が相次ぎ、この30年間で日本の国土5個分にあたる森林が失われたという。その結果、多くの生物が安住の地を追われ絶滅の危機に瀕している。▼生物種の最後に登場した人類が産業振興で温室効果ガスを排出し、森林伐採で温暖化を促進。今、南極では大量の水層が溶け出し、北極圏では氷海や地中の巨大な永久凍土が融解しているという。世界各地で水害や干ばつ、山火事が頻発し、日本でも桜の開花や梅雨入りが早くなり、夏には豪雨災害や猛暑が襲う。▼異常気象だけではない。従来は、森の奥深い洞窟の中でコウモリに寄生していた新型コロナウイルスが、人間によって森林が分断され、農地の開拓が進んだことで人に感染したとみられている。コロナ禍も異常気象も人間にブーメランのように返ってきただけ。因果応報というべきか。（吉）